



ご来賓を代表してご挨拶をいただいたトヨタ自動車(株)代表取締役社長 豊田章男氏



主催者を代表して挨拶をする中産連 平野幸久会長



基調講演をいただいたトヨタ自動車(株)代表取締役会長 張 富士夫氏

三月一日(月)名古屋観光ホテル(名古屋市中区)において、トヨタ生産方式の生みの親・大野耐一氏の生誕百年を記念して特別フォーラム「トヨタ生産方式の本質と進化(深化)」(主催：中部産業連盟・協賛：中部インダストリアル・エンジニアリング協会、中部品質管理協会)を開催しました。冒頭に主催者を代表して、平野幸久会長(中部国際空港(株)相談役)が開会の挨拶、ご来賓を代表して豊田章男氏(トヨタ自動車(株)代表取締役社長)よりご挨拶をちょうだいしました。

第一部の基調講演として、大野耐一氏より直接の薫陶を受けた張富士夫氏(トヨタ自動車(株)代表取締役社長)よりご挨拶をちょうだいしました。

第二部のパネルディスカッションでは、当連盟の竹内弘之副会長がファシリテーターを務め、大野耐一氏とゆかりの深い六名の方々にご登壇をいただきました。

【パネリストのみなさま】

- (社)日本プラントメンテナンス協会 前会長 (株)豊田自動織機 顧問 磯谷智生氏
- (社)中部産業連盟 名誉会長 トヨタ自動車(株) 顧問・技監 池淵浩介氏
- 中部品質管理協会 会長 トヨタ紡織(株) 特別顧問 好川純一氏
- 中部インダストリアル・エンジニアリング協会 会長 トヨタ自動車(株) 技監 林 南八氏
- 中部経済同友会 代表幹事 トヨタ紡織(株) 相談役 箕浦輝幸氏
- トヨタ自動車(株) 生産管理部

生産調査室 室長

二之夕裕美氏

ファシリテーター

竹内弘之

パネリストのみなさまには、大野耐一氏にまつわるエピソードも多く交えて、トヨタ生産方式による現場中心の経営哲学、人材育成の考え方、トヨタ本社工場からグループ会社への展開、国や業界を越えて応用されていった歴史、またトヨタ生産方式の今後の展望などをお話しいただきました。

また、東京大学大学院経済学

研究科・ものづくり経営研究センター長の藤本隆宏教授より、パネルディスカッションにビデオメッセージをいただきました。

経営環境が目まぐるしく変化する今日においても、トヨタ生産方式はものづくりのバイブルとして、全世界の産業界の発展に多大な貢献を果たしています。大野耐一氏の『改善』の意志は次世代に着実に引き継がれており、氏の教えを振り返る機会となったとともに、ものづくりの世界での今後の一層の進化、深まりを実感できるイベントとなりました。当日ご参加された千二百五十名のみなさまにはご高評をいただきました。



トヨタ自動車(株) 顧問・技監 池淵浩介氏



(株)豊田自動織機 顧問 磯谷智生氏



トヨタ自動車(株) 技監 林 南八氏



トヨタ紡織(株) 特別顧問 好川純一氏



トヨタ自動車(株) 生産管理部 生産調査室 室長 二之夕裕美氏



トヨタ紡織(株) 相談役 箕浦輝幸氏



中産連 副会長 竹内弘之



東京大学大学院 経済学研究科 教授 藤本隆宏氏 (VTR)